

再生可能エネルギーの推進と透明性確保に向けたベトナム政府の方針

2025 年 1 月 8 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

再生可能エネルギーの推進と透明性確保に向けたベトナム政府の方針

ベトナム政府の首脳は、再生可能エネルギーのプロジェクトに関する課題や障害を 2025 年 1 月 31 日までに解決するとしている。特に、賄賂や腐敗を厳しく禁止し、問題解決に向けた努力を促進することが求められている。

2023 年末時点で、再生可能エネルギーの総発電容量は 21,664 MW に達し、ベトナムの電力全体の約 27%を占めている。これらの成果は、COP26 でベトナム首相が宣言した 2050 年までのネットゼロ排出達成に向けた取り組みである。

しかし、ベトナムは再生可能エネルギー開発の経験が浅く、法制度も未完成なため実施過程で問題が発生している。最終的には政府監査局によって具体的な違反か違反でないかの結論が出され、違反した場合は関係者の責任を明確にする必要がある。

プロジェクトの運用開始が遅れることは社会資源の浪費を引き起こし、企業や市民に経済的損失をもたらすリスクがある。

ベトナム政府は問題解決において最適な処理方法を選択し、経済社会的利益や損害を分析し、紛争や訴訟の影響を最小限に抑えることを目指している。具体的なプロジェクトについては地方政府が投資家と協力して権限内で解決することが求められ、それでも解決できない場合は適切な政府上位機関へ報告する必要がある。

手続きや土地関連で違反したプロジェクトについては法令に従って解決が確認されれば、運転を許可される。FIT 価格による優遇措置を受けているプロジェクトが条件を満たさない場合には、その優遇措置は受けられず、新たな電力購入価格が設定される。

首相は、公正かつ明確な方法で問題解決すべきだと強調し、2025 年 1 月 31 日までに各問題の解決を目指すべきだとしている。

以上